



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日

上場会社名 GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3788 URL <https://www.gmogshd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 青山 満
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 池谷 進 (TEL) 03-6415-6100
 四半期報告書提出予定日 2024年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け) (百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	4,720	11.5	423	10.2	465	△0.3	335	12.8
2023年12月期第1四半期	4,232	7.7	384	△25.9	467	△16.3	297	△26.3

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 623百万円(62.9%) 2023年12月期第1四半期 382百万円(△37.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年12月期第1四半期	円 銭 29.08	円 銭 —
2023年12月期第1四半期	25.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	17,375	8,846	50.7
2023年12月期	15,693	8,665	55.0

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 8,816百万円 2023年12月期 8,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	0.00	0.00	0.00	38.46	38.46
2024年12月期	0.00				
2024年12月期(予想)		0.00	0.00	36.47	36.47

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,250	10.0	1,450	12.5	1,387	5.4	840	13.6	72.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期 1 Q	11,693,000株	2023年12月期	11,693,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	173,680株	2023年12月期	173,680株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期 1 Q	11,519,320株	2023年12月期 1 Q	11,519,363株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、インターネットサービス市場において、電子認証や電子印鑑を中心とした、認証技術を活用したトラストサービスをグローバルに提供する「電子認証・印鑑事業」、27年を超える運用実績とノウハウを生かしたホスティングサービスおよびマネージドクラウドサービスを提供する「クラウドインフラ事業」、DX化により業務効率化・高付加価値化を図り、様々な課題解決を支援する「DX事業」を展開しております。また、これらの事業を通じて、利便性と安心・信頼を兼ね備えたインターネットサービスを提供し、多くの企業のインターネットビジネスを支えるべく事業を展開しております。

当第1四半期連結累計期間においては、当社グループの成長・収益基盤を支える「GlobalSign」ブランドの自社運営認証局による電子証明書発行サービスが、グローバルで堅調に伸長いたしました。同様に、注力している電子契約サービス※1「電子印鑑GMOサイン」の導入企業数及び契約送信数も、戦略的投資の成果により順調に拡大し、引き続き中長期的な成長を目指すために様々な施策を実施しております。さらに、DXの進展や多様な働き方の広がりに伴い、クラウド利用が拡大し、シングルサインオンサービス「GMOトラスト・ログイン」やマネージドクラウドサービスの販売も順調に伸長いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,720,549千円(前年同期比11.5%増)、営業利益は423,340千円(同10.2%増)、経常利益は、前年同期に営業外収益において投資事業組合運用益78,061千円の計上があったことから465,618千円(同0.3%減)、および親会社株主に帰属する四半期純利益は335,007千円(同12.8%増)の増収増益となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの経営成績をより適切に把握するため、セグメント利益を経常利益から営業利益に変更しております。また、2024年1月に組織体系の見直しを行い、報告セグメントの区分方法を変更し、「DX事業」に計上していた一部の事業活動について、「クラウドインフラ事業」に計上しております。

上記に伴い、文中の前年同期は変更後の測定方法、区分方法に組替え後の実績を用いて比較を行っております。

※1：電子契約サービスとは、これまでの「紙+印鑑」の契約に代わり、「電子データ+電子署名」による契約形態のこと。印紙税課税対象外などのメリットがある

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(電子認証・印鑑事業)

電子認証・印鑑事業においては、電子契約サービス「電子印鑑GMOサイン」を注力商材として位置づけ、人材投資およびマーケティング活動の強化による認知度向上を図ることで、中長期的な事業拡大を目指しております。

当第1四半期連結累計期間においては、戦略的投資を継続している「電子印鑑GMOサイン」の販売が堅調に推移しており、契約社数および契約送信件数は引き続き順調に増加しております。地方自治体における業務のデジタル化を通じた行政サービスの利便性向上と職員の働き方改革を目的とした「さよなら印鑑~1億総デジタル化プロジェクト~」においては、代理店戦略の強化を推進しているほか、官公庁・自治体における処分通知等を電子化する『GMOサイン電子交付』の提供を強化するなど全国各地の自治体DXに努めております。

売上においては、SSLサーバ証明書をはじめとした電子証明書発行サービスが、アジア地域をはじめ、欧州、北米においても順調に進捗しグローバルで売上を伸ばしました。また、電子契約サービス「電子印鑑GMOサイン」では、有料化強化に向けた営業体制・カスタマーサクセスの強化に取り組み、有料顧客数および有料送信数の拡大に努めました。さらに、国内IDaaSソリューションのシングルサインオンサービス「GMOトラスト・ログイン」では、営業体制の強化により順調に事業拡大いたしました。一方で費用においては、海外拠点におけるインセンティブ等による人件費の増加および認証局の開発投資に伴う減価償却費の増加がありました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における電子認証・印鑑事業は、売上高は3,028,772千円(前年同期比15.1%増)、セグメント利益は396,447千円(同6.0%増)となりました。

(クラウドインフラ事業)

クラウドインフラ事業においては、クラウドの導入支援および設計・構築、監視・運用などを代行するマネージドクラウドサービス「CloudCREW byGMO」が、クラウドの安全性を高めるセキュリティ対策を特徴としたサービスと26年以上にわたるインフラ運用実績およびAWS認定資格等の高い技術力による強みを活かし順調に事業を拡大しております。当第1四半期連結累計期間においては、企業のDX推進およびAIソリューションの急速な進化等、クラウドサービスの活用機会が拡大したことで、引き続きパブリッククラウド市場の高い成長を背景に良好な受注環境となっております。そのような状況下「CloudCREW byGMO」の売上高は前年同期比30.8%増加の431,624千円となるなど順調に進捗いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるクラウドインフラ事業の売上高は1,575,640千円（前年同期比4.7%増）、セグメント利益は44,715千円（同33.3%増）となりました。

(DX事業)

DX事業においては、電子認証・印鑑事業とクラウドインフラ事業で培ったノウハウを生かし、DX化による業務効率化・高付加価値化を図ることで、企業の様々な課題解決を支援しております。

当第1四半期連結累計期間においては、GMOデジタルラボ社が提供する企業・店舗専用の集客支援アプリ「GMOおみせアプリ」が堅調に導入店舗数を増加させ、当四半期連結会計期間末で10,316店舗（前年同期比6.4%増）となりました。GMOフィナンシャルゲート社との協業サービス「おみせポケット」においては、代理店施策および機能開発を進めたことで順調に導入店舗数を伸ばし、当四半期連結会計期間末で16,969店舗（前年同期比63.1%増）となり、ストック売上も堅調に積みあげております。また、自治体や事業者が発行する紙の商品券をデジタル化するサービス「モバイル商品券プラットフォーム byGMO」においても、機能拡充による競合優位性を生かし、全国の自治体および大手顧客への導入を推し進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるDX事業の売上高は247,031千円（前年同期比3.6%増）、セグメント損失は22,334千円（前年同期は13,169千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、11,489,257千円となり、前連結会計年度末に比べ1,425,964千円増加しております。主な増減要因は、現金及び預金の増加1,009,193千円、売掛金及び契約資産の増加350,471千円、前払費用の増加103,064千円であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、5,885,984千円となり、前連結会計年度末に比べ255,772千円増加しております。主な増減要因は、ソフトウェアの増加242,921千円、長期前払費用の増加9,198千円であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、5,347,626千円となり、前連結会計年度末に比べ561,725千円増加しております。主な増減要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加310,000千円、契約負債の増加216,292千円であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、3,181,251千円となり、前連結会計年度末に比べ939,119千円増加しております。主な増減要因は、長期借入金の増加875,000千円、繰延税金負債の増加71,000千円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、8,846,364千円となり、前連結会計年度末に比べ180,891千円増加しております。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益335,007千円及び、支払配当金443,033千円を計上したことによる利益剰余金の減少108,025千円、為替換算調整勘定の増加285,533千円、非支配株主持分の増加2,894千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、2024年2月13日付け公表の「2023年12月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,655,490	7,664,683
売掛金及び契約資産	2,337,411	2,687,883
前払費用	680,919	783,984
その他	532,532	519,929
貸倒引当金	△143,061	△167,223
流動資産合計	10,063,293	11,489,257
固定資産		
有形固定資産		
建物	150,377	152,950
減価償却累計額	△91,521	△95,512
建物(純額)	58,856	57,437
車両運搬具	3,789	3,980
減価償却累計額	△3,789	△3,980
車両運搬具(純額)	-	-
工具、器具及び備品	3,082,968	3,183,048
減価償却累計額	△2,328,513	△2,425,317
工具、器具及び備品(純額)	754,454	757,730
リース資産	457,397	448,904
減価償却累計額	△177,584	△175,305
リース資産(純額)	279,812	273,598
有形固定資産合計	1,093,123	1,088,767
無形固定資産		
ソフトウェア	3,610,290	3,853,212
その他	40,305	40,095
無形固定資産合計	3,650,595	3,893,308
投資その他の資産		
投資有価証券	275,725	276,646
関係会社株式	170,250	170,250
長期前払費用	185,224	194,422
繰延税金資産	71,878	76,632
その他	183,414	185,956
投資その他の資産合計	886,493	903,909
固定資産合計	5,630,212	5,885,984
資産合計	15,693,505	17,375,242

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,780	84,048
1年内返済予定の長期借入金	400,000	710,000
未払金	662,647	696,743
未払費用	517,380	501,005
契約負債	2,511,909	2,728,202
リース債務	104,685	103,351
未払法人税等	222,830	145,570
未払消費税等	110,258	136,618
賞与引当金	69,034	77,369
その他	139,373	164,716
流動負債合計	4,785,900	5,347,626
固定負債		
長期借入金	1,260,000	2,135,000
リース債務	241,315	231,965
繰延税金負債	641,076	712,076
その他	99,740	102,208
固定負債合計	2,242,131	3,181,251
負債合計	7,028,032	8,528,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	916,900	916,900
利益剰余金	6,584,312	6,476,286
自己株式	△163,305	△163,305
株主資本合計	7,337,906	7,229,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,125	36,615
為替換算調整勘定	1,264,334	1,549,867
その他の包括利益累計額合計	1,300,459	1,586,482
非支配株主持分	27,107	30,001
純資産合計	8,665,473	8,846,364
負債純資産合計	15,693,505	17,375,242

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	4,232,337	4,720,549
売上原価	1,499,299	1,754,355
売上総利益	2,733,038	2,966,193
販売費及び一般管理費	2,349,032	2,542,853
営業利益	384,006	423,340
営業外収益		
受取利息	2,947	6,594
受取配当金	34,982	28,985
投資事業組合運用益	78,061	1,501
為替差益	-	5,546
その他	5,895	8,509
営業外収益合計	121,887	51,136
営業外費用		
支払利息	3,102	5,605
投資事業組合運用損	2,255	1,558
為替差損	32,604	-
その他	743	1,693
営業外費用合計	38,706	8,858
経常利益	467,186	465,618
税金等調整前四半期純利益	467,186	465,618
法人税、住民税及び事業税	118,547	85,345
法人税等調整額	45,159	43,618
法人税等合計	163,706	128,964
四半期純利益	303,479	336,653
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,358	1,646
親会社株主に帰属する四半期純利益	297,120	335,007

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	303,479	336,653
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,888	490
為替換算調整勘定	116,315	286,780
その他の包括利益合計	79,426	287,270
四半期包括利益	382,906	623,924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	376,051	621,030
非支配株主に係る四半期包括利益	6,854	2,894

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子認証・印 鑑事業	クラウドイ ンフラ事業	DX事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,573,583	1,427,091	231,662	4,232,337	—	4,232,337
セグメント間の内部 売上高又は振替高	57,444	77,363	6,672	141,480	△141,480	—
計	2,631,027	1,504,454	238,335	4,373,818	△141,480	4,232,337
セグメント利益又は 損失(△)	374,130	33,537	△13,169	394,498	△10,492	384,006

(注) 1 セグメント利益の調整額△10,492千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子認証・印 鑑事業	クラウドイ ンフラ事業	DX事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,981,419	1,500,716	238,413	4,720,549	—	4,720,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47,352	74,923	8,618	130,895	△130,895	—
計	3,028,772	1,575,640	247,031	4,851,444	△130,895	4,720,549
セグメント利益又は 損失(△)	396,447	44,715	△22,334	418,828	4,512	423,340

(注) 1 セグメント利益の調整額4,512千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメント変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、以下のとおり報告セグメントの情報を変更しております。

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

報告セグメントごとの経営成績をより適切に把握するため、セグメント利益を経常利益から営業利益に変更しております。

(報告セグメント区分の変更)

2024年1月に組織体系の見直しを行い、報告セグメントの区分方法を変更し、「DX事業」に計上していた一部の事業活動について、「クラウドインフラ事業」に計上しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法、区分方法に基づき作成したものを開示しております。